

弥生愛南文芸

内海俳句会

潮待ちのトツポに爆ぜる焚火かな
豆打つて外に追ひ出す鬼もなし
枯れ果てし野辺の空白拡がりぬ
泰の夜明け奏でる由良の波

太田 信子
岩森十志子

檳榔子俳句会

初声や小意気に澄ます火焚鳥
雪あとの空の青さよ愛南よ
ひとつくりつづ七種を誦じて
若菜野の風に弾みしスニーカー
頼もしき成人の日の主張かな
採血の針におびえる寒雀
元朝や雄叫びのごと土佐ジロー
もの言はぬ日もなつかしき成人の日

泉 くらら
吉田 朝子
五島 節子
山口 和子
山口 董
濱野 康子
田中 博子
三好ミキエ

冬帽子ちよこんと載せて好々爺
初声に村たんたん動きたす

吉田モミエ
井上 論天

みなみうわ俳句会

昭和遠し歌留多羽子板手毬独楽
糸引けば風のうなづく峡の空
冬茜一転闇に包まるる
参道の雪の声する永平寺
元日や静かにとんびの宙返り

木村 智子
濱 初榮
中川千代子
清水 麗子
竹村 勝利

西海俳句会

年と共に父母思う彼岸かな
美容院の予約取り消す大寒波
大寒波大きなバスに伽はなく
海鳥の声笈する冬の浦
ハーレーの轟音冬の岬へと

吉田 笑代
浜木チズエ
利根早智江
吉田 勝也
吉田 弘定

はじめまして。赤ちゃん。

1月受付分(敬称略)

地区名	子の名	保護者
-----	-----	-----

ご冥福をお祈りします。

1月受付分(敬称略)

地区名	亡くなった方	満年齢
-----	--------	-----

▶俳人をご紹介します

檳榔子俳句会

三好ミキエさん(御莊平城)



私が俳句と出会ったのは、檳榔子俳句会の前身である檳榔子会に入会した時でした。当時は観自在寺で月1回の句会をしていました。今は檳榔子俳句会で俳句の勉強を続けています。

この35年余りで、句を作る楽しみを知り、人とのつながりもでき、月1回の句会を待つようになりました。名も知らぬ花や四季の景を作句することが何よりもうれしいです。

俳句は私にとって人生の喜びです。これからも生ある限り続けたいと思います。

※上記情報は、広報紙掲載に対して、ご家族等に同意を頂いております。